



1. 2学期が始まりました。

夏休みが終わり、2学期が始まりました。気象庁が、2022年の夏の猛暑は「異常な状態だった」と見解を示す中、子どもたちは熱中症予防対策、新型コロナウイルス感染症予防対策をおこない、体調を整えながら部活動に取り組んでいました。活動するにあたって、様々な制限がある中でも、子どもたちは、何ができるか、どうしたらできるかを考え、自分たちの目標に向かって懸命に努力していました。自分が思い描いた結果が出なくても、この間に培った我慢強さや粘り強さ、好奇心や探究心などは、きっと将来の自分の自信になると思います。是非、今後の学校生活や進路に活かして欲しいと願っています。

さて、現在、新型コロナウイルス感染拡大「第7波」が続いています。子どもたちが安全に安心して学校生活を送ることができるように、今一度、家庭と連携しながら、感染予防対策を徹底し、教職員一同力を合わせて取り組んでまいりますのでよろしくお願い申し上げます。

2. 9月は「いじめ未然防止啓発月間」です。

枚方市では、9月を「いじめ未然防止啓発月間」として、いじめの未然防止及び早期発見をめざした取組を推進しています。本校におきましても、「枚方市立津田中学校いじめ防止基本方針」に則り、いじめの未然防止及び早期発見、早期対応に努めているところです。いじめは、その子どもの将来にわたって内面を深く傷つけるものであり、子どもの健全な成長に影響を及ぼす、まさに人権にかかわる重大な問題です。本校では、教育活動のすべてにおいて生命や人権を大切にす精神を貫くことや、教職員自身が、子どもを一人ひとり多様な個性を持つかけがえのない存在として尊重し、子どもの人格のすこやかな発達を支援するという立場で指導を徹底してまいります。

3. 始業式でのお話

この夏休み期間中、第104回全国高等学校野球選手権大会が開催され、仙台育英(宮城)が決勝で下関国際(山口)を8-1で下して、東北勢初の優勝を成し遂げました。決勝で敗れた下関国際(山口)は、優勝候補と目されていた大阪桐蔭(大阪)を準々決勝で破り、決勝に進んだチームです。その下関国際(山口)の野球部は、1965年に創部され、現在の監督が就任して以降、徐々に力をつけてきました。その監督は部室の清掃や道具の管理など、野球の技術以前に大切なことから徹底し、豊富な練習量で自信を植えつける指導で強化を図ったそうです。過去には、部員が一人しかいなくて、公式戦にも出場できなかったこともある中、考え方を変えず、甲子園をめざして、選手、OB、みんなで頑張ってきたとのこと。練習の環境や部員の数にも恵まれなかった県内においても無名のチームが、みんなで一つの目標に向かって努力することで、甲子園の決勝に進むなど、未来を変えることができるのだということを学ばせていただきました。2学期は授業や部活動に加えて、文化祭や体育祭などの大きな行事があります。これらの行事を有意義なものにするためには、みなさんの努力やチームワークが不可欠です。学校や学年、クラスの中心となって活動してくれる友達に感謝し、自分ができる役割を考え、努力することを何よりも優先して、協力しながらすばらしいチームワークを発揮して欲しいと思います。行事を成功させることで、クラスの力や学年の力、さらには津田中学校全体の力が伸びていくことでしょう。